

# 公開研究会 現代美術のアーカイブの展開

科学研究費基盤研究 (A)「大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究」

2016年12月3日 [土] 13:30-17:00 入場無料 事前申込不要  
慶應義塾大学 三田キャンパス 南校舎 445 教室



Research forum:

Perspectives on Archives of Contemporary Art

現在進行形である現代の芸術活動とそれに関わる関連資料を保存・活用するアーカイブの関係は、他の時代の芸術とはまた違った側面を持っているといえます。本研究では、レンヌ第二大学からナタリー・ブールーシュ氏を招き、現代美術に関わるアーカイブを所管する大学や、美術館からの事例を紹介するとともに、現代芸術に関するアーカイブというリソースの可能性と展開について考察します。

## 研究発表

**ナタリー・ブールーシュ Nathalie Boulouch (レンヌ第二大学)**

美術批評家アーカイブを収める場 ※フランス語通訳付き

Une demeure pour les archives de critiques d'art

**谷口 英理 (国立新美術館)**

日本のミュージアム・アーカイブズの課題——主に戦後美術資料の活用をめぐる

**渡部 葉子 (慶應義塾大学アート・センター)**

アート・アーカイブにおける発信と創造

## 討論

司会 **五十殿 利治 (筑波大学・研究代表者)**

**お問合せ** 慶應義塾大学アート・センター archives@contact.art-c.keio.ac.jp (本間・森山)

**主催** 科学研究費基盤研究 (A)「大学における「アート・リソース」の活用に関する総合的研究」

**共催** 慶應義塾大学アート・センター